

NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュース №.29

平成24年も2月になりましたが、本年も皆様のご健勝と幸多きことをお祈り申し上げ、これまでの温かいご支援に感謝申し上げます。

「三郷サンサンハウス」は今から10年前、平成14年1月の「サンサン会」での話し合いがきっかけで誕生しました。

平成3年「年をとってもこの町で安心して住み続けたい」とサンサン会を設立して以来、毎年町に「ケア付き高齢者住宅の建設」等を要望してきました。10年経つと「町としては出来ないが民間でする場合支援します」との回答が得られました。これ以上年をとると何も出来ない。今なら!と「高齢者が気兼ねなく集まる居場所づくり」の検討をはじめました。

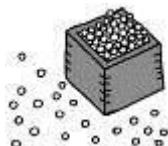
その時、土地代金を寄付しようとの申出がありました。寄付して下さった方の気持ちを大切に、本当に困った時に役立つものをつくろうと「NPO 法人」を設立し「あかねの里」をつくりました。

以来、「安心して住み続けたい」をかなえる事業を追求してきました。

利用者や地域との連携も深まり、新しい課題に挑戦し続ける若い職員に支えられ 10年前には想像も出来なかった姿に成長しました。

今後も、3つの理念を大切に一歩ずつ前進して行きたいと思います。皆様のご支援に感謝申し上げると共に未永くご支援いただきますようお願い申し上げます。 理事長 上野登志子

NPO 法人
「三郷サンサンハウス」
三郷町三室2丁目5-22
Tel/0745-32-3535
Fax/0745-32-3519
理事長 上野登志子
2012.2.10



三郷サンサンハウスの3つの理念

- ① 住み慣れたまちで暮しつづけるために必要支援を幅広くして行きます。
- ② 利用者や地域から信頼される事業所・職員として成長します。
- ③ 安全・平等・平和な社会環境づくりの一端を担います。

デイサービス あかねの里

☆☎31-3536☆

デイサービス『あかねの里』も、4月になると8年が過ぎます。

「認知症の介護」と看板にあげながら、私達は、それに値する介護の内容を持っていると、自信をもって言えるのか?との思いから、昨年、それぞれがテーマを決め、月1回の会議の前に順番に講師になり、ミニ研修会をしました。

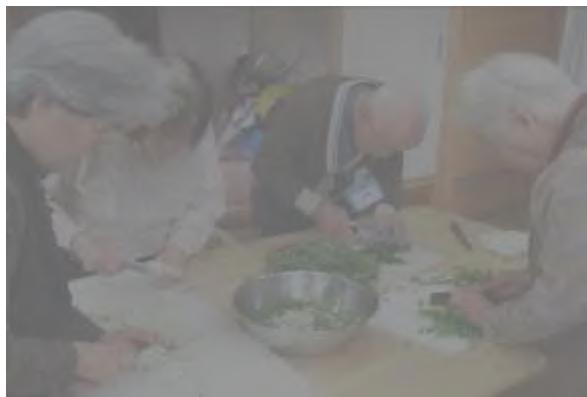
テーマは、コミュニケーションやレクリエーション、認知症という病気の考え方やケアのあり方等々様々でしたが、私達の成長(?)の小さな一歩になったかと思います。

認知症の方と過ごすデイサービスとして、私達は色々なことに悩み、ご本人やご家族の抱えておられる問題や、日々の困難に一緒にため息をついてしまうこともあります。「明日はあかねの里があるからと思い、今日一日を がんばった。」と言って下さったご家族がありましたが、ここに『あかねの里』があって、ちょっとだけ頼りになりそう・・と、思って頂けるような、そんな存在になりたいと思っています。

今年のお正月は、あかねの里の玄関に、立派な門松やしめ飾りと一緒に『笑門来福』と書いて頂きました。今年も、日々の小さな(時には大きな)失敗をいっしょに笑い飛ばし、ぐっすり眠れた、すっきり出た・・そんな小さな幸せに、ご家族と一緒にV

サインをしながら喜べる、そんなデイサービスでありたいと思います。

寒くて、初詣に行くことはできませんでしたが、ボランティアさんのおいしい七草粥もいただけたし、力二食べに行こ!、温泉に行こ!、あかねで泊まろ!、花見はどこに行こ!・・・夢は、夢だけは大きくふくらんでいくあかねの里です。(笑)



七草かゆもみんなで手際よく



居宅介護支援事業所

☆☎32-3535☆

デイサービスあかねの里での仕事に何とか慣れてきた昨年2月、中川ケアマネジャーのアシストとして1年間の予定で兼務させて頂きました。

途中入所された方、退院され在宅生活に入られた方を含め、4名の方に関わらせて頂きました。



いつも、利用者様のお気持ちに添うように心掛けて参りましたが、デスクワークはなかなかはかどらず、事務や連絡調整など周囲の方に助けて貰った1年でした。

この2月、中川さん、才原さんに全ての業務を引き継ぎますが、サン

サンハウスの活動をずっと応援していきたいと思います。

皆様のご活躍と、ご利用して下さっている方々のお幸せを心よりお祈り申し上げます。
井之上由紀子

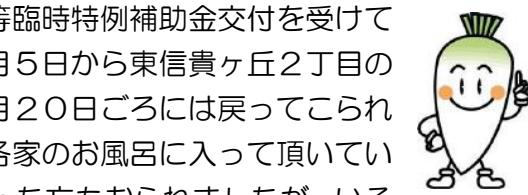
多機能ホーム 萌の里

☆㊣33-3555☆

只今、萌の里は三郷町介護基盤緊急整備等臨時特例補助金交付を受けて耐震補強工事を行っています。その為、1月5日から東信貴ヶ丘2丁目の空き家をお借りして活動をしています。2月20日ごろには戻ってこられる予定です。その間、入浴はご利用者さん各家のお風呂に入って頂いています。何年も自宅のお風呂に入っていた方もおられましたが、いろいろ一緒に工夫をしながら入浴して頂いています。久しぶりの家のお風呂が良かった方もいれば、「早く萌に戻りたいわ～」っておっしゃる方、色々なご感想が聞かれますが、職員には発見がいっぱいあって楽しいようです。ご自分の家では慣れた自然な身体の動きがあり、服の着脱なども自分で力の発揮を存分にされています。出来る力をなるべく発揮できる環境（人の関わりかたも含めて）を提供し、萌の里のモットーである“行きすぎず行き届いた”支援を、これからも心掛けて行きたいと思っています。



コタツに入ってにわか中国語講座

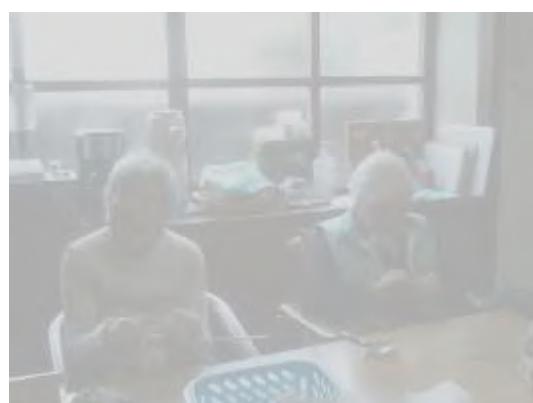


予告：3月11日（日）

昨年に引き続いて三室防災会の協力を得て、萌の里の避難訓練が行われます。（西和消防署の指導のもと、萌の里で利用者さんも一緒に避難訓練をし、その後三室自治会館に移動して消火栓、消火器、AEDなどの訓練を受けます）今回は炊き出しがあり、豚汁とおにぎりの準備に萌の里も協力



します。一年前のこの日に東日本大震災が起こりましたので真剣に取り組まなければと強く思います。萌の里では、以前より緊急時用の備品を用意していますが、その内容もより一層充実したものにしていくつもりです。



アクリルたわしの受注製作中です。

管理者 藤みわこ

高齢者の家「あかねの里」

☆☎31-3536☆

2年前ぐらいから『ローマ人の物語』を読みたいと思っていた。

それが、いつも取りつき易い推理小説になったり、軽い読物になったりで、延び延びにしてきた。

何しろ15巻もある大作だしこの次に、この次に、と易きについてしまった。流されやすい性格でもあるし楽な方にと流れてゆく。しかし今年こそはと一念発起、思いを新たに読み出してやつと2巻というところです。

読み終える事ができるかどうか、これを書きながらも他の本に興味が移って仕方がない（少々自己嫌悪なり）。

風花が舞い、インフルエンザの流行が言われているが、幸いここの住人は、今のところ大事なしである。

「おかあちゃん帰ってきはる」今日も聞く
米寿の姫の笑顔に癒さる



今年こそ読まんと決めし大作の
一巻開く 女正月
花かすい

井上 京子

ボランティア。いつもありがとうございます

サンサンハウスには、設立当初から大勢の方々が、善意でかかわって下さっています。運営にかかる理事をはじめ、車の運転、パソコンや機器のちょっとしたトラブルの点検、力仕事、また日常の食事の介助、配膳や後片付け、生花、お出かけや散歩のおとも、歌・手芸・絵画・習字の手助けなど、ボランティアで約50~60名が手伝って下さっています。本当にありがとうございます。

事業が始まってから毎年1月にお会いする機会があります。今年も1月22日に30名が集まり、なごやかなひと時を過ごしました。私も80歳になり、たいしたことは出来ませんが、「年をとってもこの三郷町で、身近な人々と共に、おだやかに生活できる場づくり」の理念に賛同してお手伝いしています。ちょっとしたことでも、短時間でもお手伝いいただける方は、ぜひご参加くださいますようお願い致します。

明山 久子



サンサンサロン

☆☎50-7970☆

新年は1月12日から始りました。利用者さん達は元気に参加され、長い休みの近況などで、おしゃべりがはずみました。1月26日に行われた新年会は、午前は、ゲームとおしゃべり。午後は、なつかしバンドと一緒に唱歌などを唄いました。特に、圧巻（！？）だったのは、あめ玉のつかみどり大会。遠慮して少ししかつかまなかつたり、小さな手であふれるほどつかみとつたり色々で、「ワー！」という歓声がたびたびおこり大賑わいでした。又Gリングによる軽い運動や輪投げゲームでにぎやかに笑って続けられたことに感謝です。



今年もサロンの利用者さん達は、小物作り・外食などパワフルに活動します。そして、新規の利用者さんを募集しています。一日体験も行っています。お気軽にお越しください。

柳 美保



サロンでは小物作りなどで体を動かすことが少ないので始めた身体重心リハビリ体操も、美松ヶ丘の自治会館に場所をかえて月1回おこない、一年がたちました。地域の方も交えて運動ができたことと、重心ラインが知らず知らずの内に改善されたことを大変嬉しく思います。

ご多忙の中、ボランティアでご指導下さいました石黒先生、スタッフの皆さんに心よりお礼申しあげます。

一月で終了しましたが、先生の熱意を忘れることなく、またご指導いただけることを楽しみにお待ちしたいと思っています。

※サンサンサロンでは、赤い羽根募金より助成をいただき、リハビリ器具を購入することができました。

※ボランティアの皆さまの暖かいご支援のおかげで、サロンは活動できています。手芸やお料理の好きな方、お話し相手などボランティアさんを募集しています。

ご連絡お待ち致しております。

山岸 千江美

ヘルパーステーション

☆☎32-3535☆

在宅でヘルパーが訪問して行う「食事の介助」の中に調理があります。ヘルパーは訪問して調理を支援する。ここで生活援助の言う保険の介助は終了です。しかし、そこで一緒にしゃべりたい、「作ってくれたこのおかずおいしいね、どうやって作ったの?」「私がよく作った白菜のおかずは…」とご利用者。ヘルパーも「おいしいと言ってもらえてうれしいです」「白菜のおかず教えてください」、ヘルパーの仕事が終わってからも会話は続きます。



食事は栄養を考えて食べたらいい、というものではありません。おいしくいただく、食事を楽しむこともお年寄りの方々にとって大切な時間ではないでしょうか。今回の介護保険改定では生活援助の時間も短縮になり、このちょっとした“しあわせ”が、また減ってしまうのではないかと危惧しています。

もちろん長い時間を使っての援助がすべて望ましいわけではありません。できることまでヘルパーがすることは自立支援の妨げになります。限られた時間の中で、ご本人の“できる”を見つけながら、在宅生活を支援したい、在宅で幸せに暮らしてほしい、という気持ちで私たちヘルパーは今日も訪問しています。寒いですが、できることを探して、「こんなことできたよ」と言ってもらえたうれしいなと思います。

たすけあいの会

☆☎32-3535☆

たすけあいの会では、会員相互の助け合い活動運営を支援していますが、要介護の方の介護保険給付の適用外サービスとして、ケアマネジャーからの依頼も多くなってきています。



例えば、現在の訪問介護サービスでは買い物はヘルパーが代行で行き、一緒に行くことはできません。「一人で外出するのは不安だけど、買い物に行きたい」そのような希望を、介護保険外のサービスとして、たすけあいの会でご利用いただいているいます。

介護保険サービスと同様に、自立し安心、安全に充実した生活を継続していくためのたすけあいの会として、活動していきたいと思います。

サンサン福祉タクシー

☆☎32-3536☆



寒い季節になりましたが、皆様お元気にお過ごしですか?「寒すぎるので病院に行くのをやめておく」といった電話もあり、薬はあるのか、腰痛は大丈夫かなどと心配になってしまいます。しばらく寒い日が続きますが、春になったら、お出かけの際のタクシー利用も増えるかと楽しみにしております。

さて、去年から車いす用のスローパー車が新しく入り、長年親しんでいただいた、横から乗るタイプの「サンバ」はなくなりました。車椅子を使用しないときは普通の椅子になるという優れもので、またご利用の際には、新しい「スローパー」もよろしくお願ひします!